



入学を祝して

新潟大学歯学部長 井 上 誠

新潟大学歯学部歯学科、口腔生命福祉学科の新入生の皆さん、保護者ならびにご家族の皆様、ご入学、誠にありがとうございます。編入生を含む歯学科45名、口腔生命福祉学科24名の皆さんを新潟大学教職員一同、心から歓迎します。皆さんの前には、将来の歯科医療人、福祉専門職としての輝かしい道が開かれています。

新潟大学歯学部（歯学科）は昭和40年に東京医科大学歯科大学と大阪大学に次ぎ、日本海側初の国立大学歯学部として東北大学、広島大学とともに設置されました。さらに、超高齢社会の到来にあわせて、平成16年には日本で初めて保健・医療・福祉を統合的に思考できる専門家（歯科衛生士・社会福祉士）を養成する口腔生命福祉学科が設置されました。来年には歯学部設置60周年を迎える中で、歯科医師数が不足していた昭和40年代から、歯科医師過剰と呼ばれ、さらに超高齢社会の中で高齢者の口腔の健康の維持が求められるようになった今日に至るまで、歯学部や福祉を取り巻く社会の状況や教育環境も大きく変わってきています。

新潟大学歯学部の教育目標は「包括的医療を行うことのできる有能かつ感性豊かな歯科医師の育成、歯科医学発展のために指導的な人材および保健・医療・福祉に貢献する専門職業人の育成」であり、「学生自身が自ら学ぶ」ということを教育の柱としています。その中核をなすのが、Problem-based learning（PBL）という学習方法であり、診療参加型臨床実習です。PBLでは「学習の主体は学生である」という概念のもとに自らが疑問をもち、自らの手で学ぶこと（アク

ティブラーニング）を教育の主体としています。そこでは「学習者」を「学修者」と呼び、知識を習う「学習」ではなく、学んだ知識や技術を身につける「学修」を行うことで、単なる知識や技術の獲得だけでなく、人間関係を構築する力や、自己管理、自己理解、課題対応力など汎用的な能力の向上と育成を促進するのです。さらに、新潟大学歯学部歯学科で行われている「診療参加型臨床実習」では、インストラクタの指導の下で、学生自らが検査、診断、治療を行う機会をもちます。令和6年1月の歯科医師法の改正により、法律に基づいて歯学生が臨床実習において歯科医師の指導監督の下、歯科医業を行うことができることになりました。法律が変わったことで、臨床実習に進む歯学科の皆さんは、Student Dentistという名の下に歯科治療を行う身分（権利）と義務を負うことになったのです。しかし本学歯学部では、このたびの法改正以前から一貫して診療参加型臨床実習を継続していました。言い換えれば、国の指針である教育システムをいち早く導入し、全国歯学部を先導してきたとも言えます。今年度入学された皆さんは、多くの先生方が培ってきた本学歯学部での学びの場に自負をもち、6年間、4年間で有意義なものとなるよう、学生生活を楽しんでいただきたいと願っています。

ところで皆さんは2024年の干支（えと）をご存じですか。辰年と答えたあなた、それは正確には十二支のことです。干支という言葉は、古代中国より始まった「甲乙丙」で始まる十干（じっかん）と十二支を組み合わせた暦の数え方であり、2024年は「甲辰（きのえ・たつ）」にあたります。60年前の「甲辰」年であった昭和39年の日本は、東

京オリンピック開催や東海道新幹線の開業など、高度成長期の中で大きな経済発展を遂げた年でした。そして新潟では、初の新潟開催となった国民体育大会の開催、さらに新潟地震が発生した年でもあります。そして60年ぶりに迎えた「甲辰」。「甲」は十干の第1位であり、優勢であることやまっすぐに堂々とそそり立つ大木を表しています。そして「辰」は十二支の中では唯一の架空の

生き物であり、竜巻や雷などの自然現象を起こす大自然の躍動を象徴するものとされています。ロシアのウクライナ侵攻、円安の中で進む物価高など、世界も日本も先行き明るいとは言えない情勢かもしれません。その中で「甲辰」に入学した皆さんには、まっすぐに堂々と、そして大いなる躍動を期待せずにはられません。





入学を祝して

医歯学総合病院副病院長（歯科総括） 多部田 康 一

新潟大学歯学部へのご入学、心からお祝い申し上げます。高校生活や受験生としての生活における皆さんの努力とご家族のご献身に敬意を表し、皆さんを歓迎いたします。

皆さんはこれから歯学部において、歯科医学、口腔保健医療・福祉について学び、そして将来、専門職業人として、またはその指導者や教育研究者などとして社会に貢献することが期待されています。そのためには、卒業と同時にライセンスを持つプロフェッショナルに成長するまでに、決められた年限内での知識、技術、態度における膨大な学びが必要です。新潟大学歯学部においては皆さんが効果的に学習できるようにカリキュラムが組まれており、年度ごとの単位を取得することでプロフェッショナルとなる準備を整えていきます。焦る必要はありませんが、卒業まで計画的に、着実に学び続けることが必要です。学生であれども社会責任のある成人として学習、日常生活における自己管理をおこなってください。

皆さんがこれから学ぶ歯科医学は、専門的な知識と技術を身につけるだけでなく、人として、将来の医療従事者としての成長も追求するものです。高度な診療技術と最新の医学知識は不可欠ですが、それだけでは足りません。質の高い医療を提供するためには、人としての豊かさ、思いやり、そしてコミュニケーション能力が必要であり、医療技術に加えて、社会や個々の患者さんとの関わ

りを通じて得られる情報を整理し、適切な決定を下す能力が求められます。それには、広い視野を持つこと、チームとして働く能力、そして何よりも他人の感情や視点を理解する共感性が必要です。大学生として過ごす時間は皆さんの人間性を深めるための大切な時期でもあります。クラブ活動やボランティア活動、日常生活の中での人々との出会いや関わりを通じて、楽しみながら社会への理解を深めていく時間を大切にしてください。また、ライセンスをとることは最重要の目標ですが、大学生活においては単視眼的にならず様々な情報や価値観に触れ、考えながら、皆さんの関わる歯科医学・歯科医療、口腔保健医療・福祉の様々な課題の解決、社会における持続性に自分がどう貢献してゆくか考えていただきたいと思います。

新潟大学医歯学総合病院の理念は「生命と個人の尊厳を重んじ、質の高い医療を提供するとともに、人間性豊かな医療人を育成する」です。皆さんの豊かな人間性は、皆さん自身、周りの人々、患者さんとそれをとりまく社会に好循環に還元されます。皆さんの経験すべてが学びです。大学での学習を重んじながらも、色々なことにチャレンジし、楽しみながら充実した学生生活を送ってください。本院において成長した皆さんと一緒に患者さんを診て、研修を行う日を心待ちにしています。